

油圧シリンダ

油圧ポンプ

油圧バルブ

アクセサリ

油圧プレス

油圧工具

機械式シャッキ

油圧クランプ

資料

▼ RDV-50R

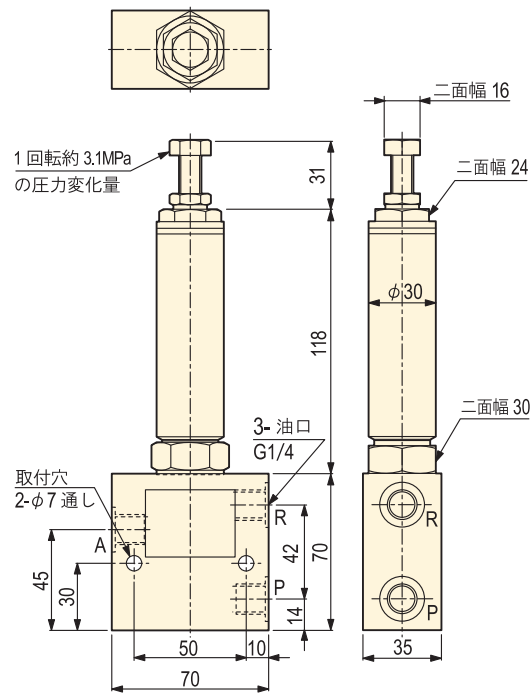


特長

- 応答性のよい直動形の減圧弁です。
- 二次側圧力を一次側圧力より低い圧力に設定できます。
また一次側圧力の変化に影響されず、二次側圧力を一定に保つことができます。
- 減圧保持時には内部リークがありません。
- 二次側圧力が設定より上昇したり、シリンダに過負荷が生じた場合はバルブ内の安全弁が作動して、ドレンプート(R)から油がドレンして設定圧力に戻ります。

レデュースングリリーフバルブ寸法図・仕様表

▼ RDV-50R 寸法図



▼ 仕様表

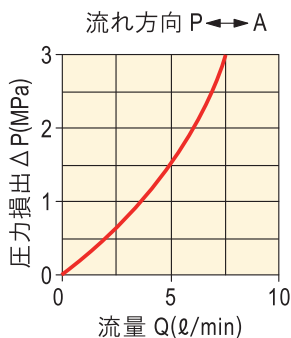
使用圧力	P(一次側ポート)	50MPa (Max)
	A(二次側ポート)	1.8 ~ 38MPa
	R(ドレンプート)	2MPa 以下
最大流量	P → A	6 ℓ/min
	A → P	25 ℓ/min
	A → R _{max}	特性曲線を参照
流れ方向	P → A	二次圧制御
	A → P	P開放時のみ逆流
※ 外付けのチェックバルブはA → Pの最大流量を大きく超える場合やサージ圧力や脈動が発生する油圧装置に推奨します。		
取付方向	任意	
圧力調整	1回転あたり 3.1MPa	
圧力を調整する場合は必ず圧力計を用いて調整してください。上記は1回転当りの圧力変化量を表します。この数値を参考に適当な圧力が設定できます。		
作動油	エナパック純正作動油(鉍物性作動油) ISOVG32 相当品 耐摩耗性油圧作動油	
温度	0 ~ 55℃(作動油温度)	
質量	1.8kg	

※ アクチュエータを繰り返し作動させている間に、一次側圧力が変化した場合に、設定されているレデュースング圧力が変動します。

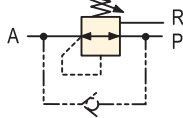
▼ 二次側圧力(A) - 流量(Q → A)特性曲線

設定圧力はP → Aへの流量が0ℓ/minの時の数値です。安全弁の圧力はレデュースング圧力を設定するだけで同一の圧力に設定できます。流量がQ>0の場合アクチュエータはまだ動いている状態にあり、安全弁圧力よりレデュースング圧力が — 線のように僅かに低くなります。二次側圧力が上昇すれば — 線の二次側圧力で安全弁が開きRポートへドレンします。

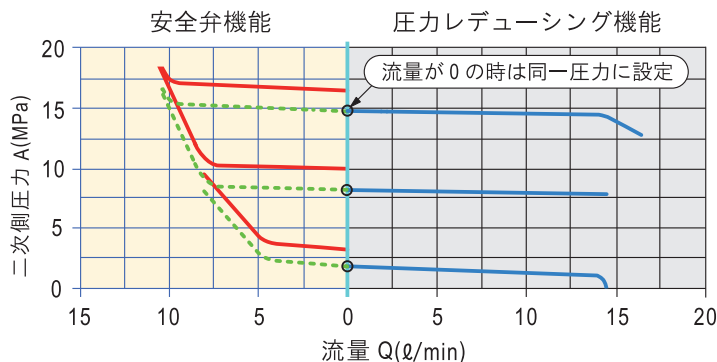
▼ 圧損特性曲線



▼ 油圧記号



※ - - - 線は外付けチェックバルブ





レデュースバルブ

▼ RDV-700



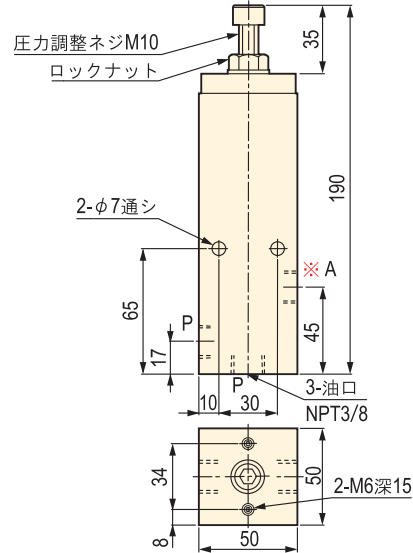
▼ 仕様表

型式	RDV-700
最高使用圧力	P 側 70MPa
許容流量	0.1 ~ 10ℓ/min
A 側減圧範囲	7 ~ 30MPa
A 側復帰圧力	P 側圧力 × 0.1MPa
ポート径	NPT3/8
質量	3kg
▼ 油圧記号	

特長

- 油圧回路内で圧力を減圧することができます。
- 減圧のために外部へドレンさせる必要がないため、吐出量の少ない油圧ポンプでも有効に機能します。

▼ RDV-700 寸法図



注意

※ 温度上昇や負荷の変動によって、A 側圧力が設定圧力より上昇した場合に、設定圧力まで減圧されません。安全のため A 側にリリーフ弁を設置してください。

カウンタバランスバルブ

▼ VSQ-03-70



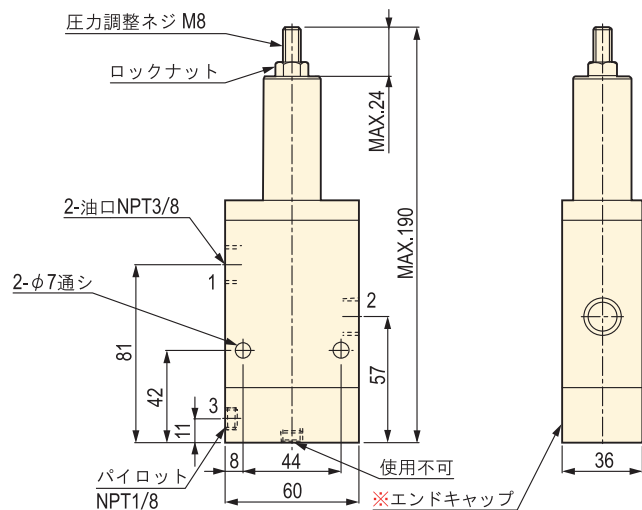
▼ 仕様表

型式	VSQ-03-70
圧力設定範囲	10MPa ~ 70MPa
最高使用圧力	70MPa
許容流量	20ℓ/min
クラッキング圧力	0.1MPa
ポート径	NPT3/8
質量	2.5kg
▼ 油圧記号	

特長

- 負荷によるシリンダの自重落下を防止します。
- バルブのエンドキャップを 180 度回転させるだけで、内部パイロットと外部パイロットの切替が容易にできます。

▼ VSQ-03-70 寸法図



※ 図面のようにパイロットポートが 3 の位置にあれば、バルブが内部パイロットで機能します。エンドキャップを 180 度回転させて取付けてから、外部から 3 にパイロット圧力を供給すれば、外部パイロットでバルブが機能します。